

祝 東京スカイツリー® 開業記念

江戸のこころ 大浅草観光祭



祝 東京スカイツリー®開業記念

江戸のこころ 大浅草観光祭

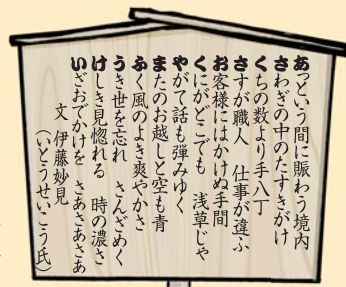
平成24年春の東京スカイツリー開業にあわせて、浅草観光連盟が中心となって各種催事を実施致します。東京スカイツリーから浅草へ、どうぞお越し下さい。

江戸町「浅草奥山風景」

期間：3月10日(土)～5月7日(月)

場所：浅草寺本堂西側一帯

浅草寺西側一帯は通称奥山と親しまれ、江戸時代から大道芸や見せ物小屋が並び盛り場浅草発祥の地でありました。その場所に江戸時代さながらの町並みを再現し江戸小物、版画、玩具、提灯、指物、手拭い等の見世が六十店余並び緋毛氈の茶屋が現れます。杵山提灯の並ぶ大木戸をくぐると江戸の大道芸人や瓦販売りの居るにぎやかな江戸町にタイムスリップ、浅草寺境内で江戸風情をお楽しみ下さい。



大浅草観光祭・三社祭七百年記念

「平成浅草小判の賑わい」

期間：3月10日(土)～5月7日(月)

場所：奥山風景会場・仲見世・西参道・

奥山おまいりまち・花やしき通り・平成中村座

大浅草観光祭・三社祭七百年をお祝いし記念小判を発行いたします。仲見世と奥山風景に両替所があって一枚五百円で小判を両替し、期間中奥山風景や仲見世で買い物出来る平成小判です(一両五百円)江戸町奥山風景で買い物や茶屋もよし、江戸風情をお楽しみ下さい。

●両替処：雷門両替処・江戸町奥山風景両替処【営業時間 10：00～17：00】



浅草寺「大絵馬寺宝展と庭園拝観」

期間：3月22日(木)～5月7日(月)

場所：浅草特別展示館・庭園〈入口：奥山風景内〉

浅草寺秘蔵の宝物や絵馬など、普段は非公開の貴重な寺宝と小堀遠州作庭と云われている「伝法院庭園」を特別公開致します。【拝観時間 10：00～16：00】入場料：一般300円
お問い合わせ：浅草寺/03-3842-0181(日曜祝日除く10時～16時)



「平成中村座」公演

期間：平成23年11月～平成24年5月

場所：隅田公園内 仮設劇場

猿若勘三郎(中村勘三郎)により江戸に櫓をあげたのが中村座の始まりです。浅草との縁は深く今の浅草6丁目に猿若三座の江戸中村座が隆盛を極め、その先祖ゆかりの浅草で2000年「平成中村座」が産声をあげました。その後日本各地、さらには海外へ進出し、そして今回は、開業目前の東京スカイツリーのお膝元、隅田川畔で七ヶ月のロングラン公演が実現致しました。時を同じくして中村勘太郎丈が中村勘九郎襲名と相成りお祝いムードの中開催されております。 お問い合わせ：松竹株式会社

平成中村座三月大歌舞伎(昼の部)

歌舞伎十八番の内 暫

一條大蔵譚 檜垣 奥殿

舞鶴雪月花

平成中村座四月大歌舞伎(第一部)

法界坊

平成中村座三月大歌舞伎(夜の部)

片岡十二集の内
傾城反魂香 土佐将監閑居の場

六代目中村勘九郎襲名披露 口上

曾我綉俠御所染 御所五郎藏

元禄花見踊

平成中村座四月大歌舞伎(第二部)

小笠原騒動

※演目、その他の詳細については松竹ホームページをご覧ください。



三社祭齋行七百年祭「舟渡御」

期間：3月18日(日)

場所：浅草全域、隅田川

毎年五月に齋行され浅草に初夏を告げる三社祭は、正和元年(1312年)に三社の神話に基づき行われた「舟祭」がその起源と云われております。そして、平成24年(2012年)は三社祭齋行七百年という記念すべき佳節の年。これを慶賀して「舟祭」を「舟渡御」として54年ぶりに再現・齋行する運びとなりました。ぜひとも五月の三社祭のルーツをご堪能下さい。

お問い合わせ：浅草神社/03-3844-1575



浅草寺本尊示現会「堂上げ」「堂下げ」

期間：3月17日(土)～3月18日(日)

場所：浅草寺、浅草神社、浅草全域、隅田川

浅草寺本尊示現会の行事として古式に則り浅草神社の本社神輿三体を浅草寺本堂外陣にお上げし一夜奉安致します。松明で照らされた中、一之宮・二之宮・三之宮が本堂階段を担ぎ昇る様は荘厳かつ優美で、見る者を圧倒するものであります。三体のご神体はご本尊の御前で一晚お宿まりし、翌日午前浅草神社宮司祝詞奏上、浅草寺一山式衆読経の後、本堂より「堂下げ」し、本年は三社祭齋行七百年にあたり古式舟渡御を挙行政致します。

お問い合わせ：浅草神社/03-3844-1575



浅草寺本尊示現会「堂上げ」スケジュール

3月17日(土)

午前 10時	浅草神社社殿 舟渡御齋行式典
午後 5時	浅草神社社殿 宮神輿神霊入れの儀齋行
午後 6時	浅草寺五重塔前 奉納舞踊「清元三社祭」中村勘九郎・中村七之介
午後 6時30分	浅草神社境内 宮神輿三基浅草神社発進
午後 7時	浅草寺本堂階段・外陣「堂上げ」、「法要」

浅草寺本尊示現会「堂下げ」スケジュール

3月18日(日)

午前9時30分	浅草寺本堂外陣・階段「堂下げ」
午前10時30分	浅草神社氏子四十四ヶ町 移御「山車」 宝蔵門→伝法院通り→馬道通り→言問通り→吉野通り→小松橋通り→国際通→浅草通り→並木通り→雷門→江戸通り→東参道
午後12時30分	東参道栈橋＜乗船準備＞
午後 2時	「舟渡御齋行」 隅田川（東参道栈橋～桜橋～浅草見附～駒形橋）
午後 3時	駒形橋＜上陸準備＞
午後 4時	駒形堂 法要
午後 5時30分	雷門 宮神輿雷門前安置
午後 6時	仲見世→本堂前→浅草神社境内 宮神輿渡御
午後 7時	浅草神社神輿庫・社殿 宮神輿御霊返し の儀 齋行

「平成中村座から光の道イベント」

～猿若町から江戸吉原を偲ぶ～

期間：平成23年11月～平成24年5月31日(木)

場所：奥浅草

「観音裏」と呼ばれる浅草寺から北の一帯にはかつて猿若芝居町があり吉原があり、様々な職人文化や伎芸文化が集結した奥浅草一帯があります。平成中村座から提灯や桜並木のイルミネーションで飾る「光の道」を実施、さらに商店街をめぐる大浅草スタンプラリーを開催しております。どうぞこの機会に諸芸繚乱の町「奥浅草」をお楽しみ下さい。

お問い合わせ：奥浅草観光まちづくり協会/03-3871-3591 台東区浅草4-41-8

「びんざさら舞」

東京都無形文化財

◆3月18日(日) ◆場所：舟渡御

◆5月20日(日) ◆三社祭奉納

推古天皇36年(628年)3月18日浅草浦付近(宮戸川)で漁をしていた漁師檜前浜成(ひのくまはまなり)・竹成(たけなり)の兄弟の網に一体の小さな観音像がかかりました。その観音像を現在の駒形橋付近からあがられた観音像をとりあえず槐の木の切り株の上に安置しました。そのおり草庵(藜堂)(あかざどう)を作った十人の千束田圃の百姓衆が草庵の完成を祝って踊ったのが「びんざさら」の始まりと言われております。



「金龍の舞」

◆3月18日(日)

◆場所：浅草寺境内及び舟渡御

昭和33年本堂再建を記念して創始奉納されたのが「金龍の舞」です。浅草寺の山号「金龍山」から名をとったこの舞は、『浅草寺縁起』に、観音示現の時「寺辺に天空から金龍が舞い降り、一夜にして千株の松林ができた(現世利益ともなる五穀豊穰の象徴)」とあることから創作されたものです。松林に見立てた浅草寺幼稚園園児による松慈童と、観音さまを象徴する「蓮華珠」が1名、これを守護する「金龍」(長さ約18メートル、重さ約88キロ)を8名が操作し、浅草組合花組のお囃子の中、勇壮華麗な舞が行われます。



「白鷺の舞」

◆3月18日(日) ◆場所：舟渡御

◆4月 8日(日) ◆場所：浅草寺境内

昭和43年の「東京百年祭」を記念して創始奉納されたのが「白鷺の舞」です。『浅草寺縁起』の遷座式に登場する「白鷺の舞」を再興したものです。「白鷺」8名、「武者」3名、「棒ふり」1名、「大傘」1名、「楽人」数名、浅草寺幼稚園園児による「守護童子」などにより構成される美しい舞です。



「福聚の舞」宝の舞

◆3月18日(日) ◆場所：舟渡御

◆5月 5日(土) ◆端午の節句

昭和39年の宝蔵門落慶を記念して創始された舞が「福聚の舞」で、福聚とは『観音経』にある「福聚海無量」(観音さまが備えている海のごとき福德の聚)から名付けられたもので、5月5日「端午の節句」に奉演される「宝の舞」と2月3日「節分会」で奉演される「七福神の舞」とがあります。



取材のお問い合わせ先

大浅草観光祭実行委員会 広報事務局

受付時間：月～金曜／10時～17時
(株)日本美広社内

電話 **03-3538-5471**
(土日夜間) 090-9893-5100
担当 佐藤、松山

FAX 03-3538-5472
E-mail asakusa@bikousha.co.jp

取材での注意事項

行事の写真等を別途CD-Rにご用意致しました。
ご連絡いただければ送付致します。
必要な資料をメール等でご送付送信致します。

プレスリリースに関して

取材のお申込みは別途「FAX返信用紙」またはメールより
取材予定前日 午後5時までにお申込みください。
郵送、または当日、奥山会場内の浅草観光連盟インフォメーション
ブースにて取材許可証をお渡し致します。(祭り期間内有効)

※取材の際は、自社腕章を必ず着用して、一般のお客様の
ご迷惑とならないようお願い致します。

取材について

浅草寺境内・仲見世参道にて取材を行う場合は、
事前に「浅草寺土地部」の許可が必要です。ご注意ください。

主催 大浅草観光祭実行委員会
電話 03-3844-1221